

|       |       |      |  |            |             |
|-------|-------|------|--|------------|-------------|
| 講義名   | 研究演習  |      |  |            |             |
| 講義コード | 45407 | 授業形態 |  | 開講期・曜日・時限  | 通年 木曜日 5 時限 |
| 担当教員  | 新 雅史  |      |  | サンパリング・コード | SEM350      |

|           |  |               |
|-----------|--|---------------|
| 学部・学科     |  | 演習分野          |
| マーケティング学科 |  | 新雅史ゼミ（地域商業研究） |

概要説明

このゼミでは、地域商業について深く学びます。ゼミは、2年以上の長い期間をかけて、じっくりと取り組むものです。ゼミが始まると、まず調査する地域を選びます。ただ、場所を選んで、すぐに現場で調査をしません。まずその地域についての情報を整理して、自分たちが何を調べのかを明確にします。何を知りたいかをはっきりせずに現場に行くとは、地域の人に迷惑をかける可能性があるからです。そのため、ゼミの前半は、本を読んだり、インターネットで情報を集めることをしっかり行います。こうした作業は、みなさんの就職活動に役に立つことでしょう。

調査する地域については、みんなの意見も伺いますが、私の知り合いがいる地域——具体的には、神戸、明石、沖縄のなかのどれかになります。ゼミのなかで作業が進めば、実際に現場に行って、地域の歴史に詳しい人や、お店の経営者さんなど、その地域で頑張っている人たちから話をうかがうことになります。

このゼミは、地域やお店に関心がある人、あるいは将来公務員や都市コンサルタントになりたい人にとって、とても良い学びの場になるはずです。それ以外の道を考えている人にとっても、新しいことを学んだり、視野を広げたりする良い機会になるでしょう。みなさんの参加を心から楽しみにしています。

主な卒業論文のタイトル

このゼミは今年度から始まります。

教員よりの要望

ゼミは、教員だけでなく、生徒たちが一緒になって学び合う特別な場所です。そのため、全てを先生や他の生徒に任せてしまうような姿勢は適切ではありません。また、このゼミでは、グループの努力に貢献せず、成果だけを享受しようとする「フリーライダー」と呼ばれる行動を取る人には、厳しく対応することになります。例えば、ほとんどの人が熱心に取り組んでいる中で、何もせずに遊んでばかりいて、いざ調査やプロジェクトがはじまったら、何食わぬ顔で参加しようとする人です。そうした人は、他の人たちの努力によって得られた成果に対して配慮がないという点で、このゼミにふさわしくありません。そのような行動を取る方は、最初からこのゼミに申し込まないでください。

選考方法

個別面談にて選考をおこないます。個人面談では、自己紹介、大学生活でやりたいこと、ゼミへの期待などについて話を聞きます。「教員よりの要望」と「評価方法」をしっかりと読んで申し込んでください。

|                                                                                                                                                                                             |             |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|
| 評価方法                                                                                                                                                                                        |             |
| <p>ゼミは少人数制で実施するものです。ある回数まで欠席しても大丈夫という授業ではありません。この点をよく理解したうえで、ゼミを選んでください。もし、正当な理由なくゼミを欠席する場合は、欠席の回数に関係なく、単位を与えません。このことを頭に入れて、ゼミ選びをしてください。</p>                                                |             |
| 教員英字氏名                                                                                                                                                                                      | 研究室         |
| Masafumi ARATA                                                                                                                                                                              | 研究棟 2707研究室 |
| 最終学歴                                                                                                                                                                                        |             |
| 東京大学大学院人文社会系研究科博士課程（社会学）単位取得満期退学                                                                                                                                                            |             |
| 学位                                                                                                                                                                                          |             |
| 修士（社会学）                                                                                                                                                                                     |             |
| 主な研究活動・社会活動・研究業績                                                                                                                                                                            |             |
| <p>【研究活動】</p> <p>沖縄・那覇の商店街／市場の活動について調査をおこなっています。月に1度は沖縄を訪れているので、現場の情報をゼミで伝えることができと思っています。</p> <p>スポーツ研究もおこなっています。もともとは、女子バレーボールの研究をおこなっていました。いまは、戦前から戦後にかけての東アジアにおけるスポーツの拡がりについて調べています。</p> |             |
| 趣味・特技                                                                                                                                                                                       |             |
| <ul style="list-style-type: none"><li>・プロ野球観戦（阪神ファン）</li><li>・音楽を聞くこと</li><li>・ライブに行くこと</li><li>・落語を聞くこと</li><li>・美味しいご飯を食べること</li><li>・沖縄について考えること</li></ul>                               |             |
| 所属                                                                                                                                                                                          |             |
| 那覇市市場中央通りアーケード協議会アドバイザー                                                                                                                                                                     |             |
| 所属学会                                                                                                                                                                                        |             |
| 日本社会学会、地域社会学会、日本商業学会、日本都市計画学会                                                                                                                                                               |             |
| 専門分野                                                                                                                                                                                        |             |
| 商店街研究<br>コミュニティの社会学<br>スポーツ社会学                                                                                                                                                              |             |
| 担当科目                                                                                                                                                                                        |             |
| 流通科学入門<br>流通概論<br>流通企業経営論<br>リチーリング・ケーススタディ<br>小売業概論                                                                                                                                        |             |
| 備考                                                                                                                                                                                          |             |
| <p>みなさんと議論したうえで決めますが、春あるいは夏に、宿泊をとまなうフィールド活動をおこないます。沖縄になる場合は、費用が交通費・宿泊費込みで5万円程度となります。</p>                                                                                                    |             |
| 実務経験の有無及び活用                                                                                                                                                                                 |             |
| 実務経験あり。いくつかの商店街で支援活動をしており、そこでの経験をゼミに反映する。                                                                                                                                                   |             |